

(公募)

大原湖キャンプ場指定管理者候補者選定結果

- 1 施設の名称 大原湖キャンプ場
- 2 指定の期間 令和5年4月1日～令和10年3月31日
- 3 指定管理者候補者選定結果
徳地ふるさと資源活用協会
会長 藤本 猛
山口市徳地堀1565番地1
- 4 指定管理者候補者の概要（目的、事業内容、事業実績等）
豊富な農林産物及びその他の資源を活用し、徳地地域の発展と活性化に資することを目的としており、平成3年11月から山口市徳地高齢者・若者活性化センター（南大門）の指定管理者として同施設の管理運営を行っている。また現在の大原湖キャンプ場の指定管理者である。
- 5 募集及び選定の経過
募集要項・仕様書の決定 令和4年 6月22日（水）
受付期間 令和4年 9月 5日（月）
～令和4年 9月22日（木）
現地説明会 令和4年 8月19日（金）
※希望者なしのため未実施
質問書の受付 令和4年 8月 1日（月）
～令和4年 8月31日（水）
選定委員会によるヒアリング及び審査 令和4年10月18日（火）
- 6 指定管理者応募団体
徳地ふるさと資源活用協会
- 7 審査の方法
 - (1) 選定委員会委員
岡村 萬利雄 山口市交流創造部長（委員長）
河村 元博 山口市交流創造部次長
藤村 伸一 山口市交流創造部観光交流課長
藤井 武 一般社団法人山口県観光連盟参事
齋藤 英智 国立大学法人山口大学経済学部准教授
 - (2) 提出書類の確認
特定団体からの提出書類については、募集要項に定める応募の資格等を満たし、適正に記載されていることを確認しました。
 - (3) 応募団体プレゼンテーション及びヒアリング
応募団体に対し、応募団体プレゼンテーション及びヒアリングへの出席を求め、提案内容等についての説明及び質疑応答を行いました。
実施日 令和4年10月18日（火）

場 所 市役所第11会議室

要 領 1団体につき20分間のプレゼンテーションと20分間のヒアリング実施

(4) 審査内容

提案内容の審査については、各応募団体の指定申請等書類及びヒアリングの内容を基に、選定委員会において、選定基準〔別紙1〕に掲げる評価項目ごとに評価を行い、各委員の点数を合算したものを得点としました。

8 選定結果の概要

選定基準	配点	委員数	総配点	徳地ふるさと資源活用協会
利用者の公平性・平等性の確保	10	5	50	33
施設の効用の最大限の発揮	35	5	175	132
管理運営経費の縮減	15	5	75	52
管理運営を安定して行う人的、財政的基盤	25	5	125	82
市の施策への貢献度	15	5	75	60
総 計	100	5	500	359

9 講評

大原湖キャンプ場は、恵まれた豊かな自然の中に滞在型観光レクリエーション活動の場を確保し、地場産業の振興等山口市の活性化を促進することを目的として設置した施設です。そこで、指定管理者になろうとする団体については、施設の持っている目的や性格を踏まえ、(別紙1) 指定管理者候補者選定基準に基づき検討し、審査しました。

徳地ふるさと資源活用協会は、本施設の指定管理者であるとともに、山口市徳地高齢者・若者活性化センター(南大門)の指定管理者として、徳地地域の特産品開発や地域の活性化に取り組んできた実績がある団体であり、そのノウハウを活かした地場産業の更なる振興が期待できます。また、これまでの大原湖キャンプ場の運営においても、地域団体等と連携した事業の企画・実施に加え、社会情勢を踏まえながら、利用者ニーズに合わせた新たな事業や商品販売等にも取り組むなど、徳地地域全体の活性化が期待できる取組を実施されている点について評価しました。

以上、総合的に判断して、徳地ふるさと資源活用協会を大原湖キャンプ場指定管理者の候補者として選定します。

別紙1 指定管理者候補者選定基準

選 定 基 準		配点
① 利用者の公平性・平等性の確保	・ 公の施設を運営するにあたっての基本的な考え方	10
	・ 利用者の公平、平等な利用を確保するための方策	
② 施設の効用の最大限の発揮	・ 施設管理の運営方針	35
	・ 利用促進に向けた方策	
	・ 自主事業の展開（入込客数増加についての取組）	
	・ 利用者ニーズの把握とサービス向上のための方策	
	・ 苦情対応のための方策	
③ 管理運営経費の縮減	・ 施設維持管理のための方策	15
	・ 効率的・経済的な施設管理	
	・ 収支予算書の妥当性	
④ 管理運営を安定して行う人的、財政的基盤	・ 適切な職員体制	25
	・ 職員の指導育成・研修体制	
	・ 安定した管理を行うための財政的基盤	
	・ 危機管理・安全管理体制	
	・ 個人情報の取扱方針及び具体的手法	
⑤ 市の施策への貢献度	・ 市の施策に配慮した事業活動の提案及び実績	15
	・ 地域団体や近隣他施設等との連携	
	・ 徳地地域の特産品の振興	
合 計		100